



中川 喜代和 議員

録画配信はこちら

# 高齢者移動手段として、タクシー一定額乗り放題の実現を

**Q** 高齢者の運転免許証返納後の生活移動手段は

**A** 愛のリタクシー未利用者 74.7%、利便性の向上に努める

**問**

急速に進む高齢化の地域事情に即した字内主要

安全を担保する  
除雪計画は



追寺川の溢水(令和3年8月)

**答** (建設・下水道課長)  
川原の「調整池」の揚水ポンプの点検と維持管理、ポンプ吸い込み口のごみやヘドロの除去を実施し、河川の雑木の伐採や雑草の除去を行い、流下能力の確保に努めている。また、彦根市行政区における流下能力の確保を彦根市と連携し適切に管理する。

**問** 追寺川の排水整備計画を、6月議会以降どのように検討したのか。

自然災害から「命と財産」を守るために

**問**

急速に進む高齢化の地域事情に即した字内主要

安全を担保する  
除雪計画は

**答** (学校教育担当課長)  
未然防止には、子どもの居場所づくり、絆づくり、自己有用感につながる授業や学級活動を進めることが求められている。具体的には、整えられた教室、受けたい授業の実施、ほめる・励ます指導が挙げられる。教職員の間にも、学校全体では組織で対応することを指導している。

**問** 過去5年間にあった、いじめの重大事態事案から学んだ教訓をもとにした校園への指導状況を問う。

**答** (建設・下水道課長)  
町内各字にわたる生活道路の全てを町で行うことは困難であるため、地域ぐるみの除雪をはじめ、除雪機に対する町補助金の活用も視野に、地域での助け合いによる除雪作業にご協力をお願いする。

要道路と、生活道路の除雪の見直し状況を問う。

**問**

急速に進む高齢化の地域事情に即した字内主要

安全を担保する  
除雪計画は

**答** (子ども支援課長)  
子ども支援課、福祉課、学校が子どもの家庭の様子に気をつけながら、状況把握を行っている。また、校園の担当教諭を対象に研修会を行った。子どもの現状に適した支援につなげるために、各機関と協力し取り組む。

**問** ヤングケアラーの状況把握や町の取り組みを問う。

**答** (子ども支援課長)  
子育てエール米の配布事業を行い、そのなかで養育支援が必要な家庭に対し、支援に繋げるきっかけとして、子ども支援課職員が電話連絡や訪問配達を行った。また、定期的に子どもの学習・生活支援教室を行っており、職員が関わることで、子どもたちの様子を的確に把握し、より適切な支援につなげている。

子どもの家庭環境を充実させるために

**問**

急速に進む高齢化の地域事情に即した字内主要

安全を担保する  
除雪計画は

**答** (福祉課長)  
平成29年度に65歳以上の町民1,000人を対象に実施した日常生活の移動と公共交通に関するアンケート調査で、愛のリタクシーを利用していないという回答が74.7%であった。これを受けて、停留所の増設移設、運行ダイヤの見直しを協議し、利便性の向上に努めている。また、共助の取り組みとして、町内の自治会で仕組みをつくり運行されているところもある。引き続き、地域の取り組みを共に考えサポートする予定である。

**問** 病気療養のための生活必需品や食料品などの買物時、運転免許証の返納後は移動手段に大変困っている。9月議会で質問した。現在も、移動手段に困り果てている声がたくさん届いている。高齢者の立場に寄り添う便利な移動手段の工夫について、どのように検討したか問う。

**答** (経営戦略課長)  
休職中は所属長が連絡を取り合い、状況確認や試し出勤制度も取り入れた。スムーズな職場復帰を目指すとともに、復職に際し必要なら業務内容の変更も行っている。

運転免許証返納後の移動手段は



村西 作雄 議員

録画配信はこちら

# 庁舎統合計画に関連して

**Q** 議会の大きな賛同を得る努力は

**A** 一般質問や全協の場で答弁説明してきた

庁舎統合計画に関連して

**問** 一昨年4月以降、議会に対し庁舎統合にかける協議は投げかけられていない。庁舎統合は避けられない。やらなければとの思いはほとんどの議員が持っているが、これまでの町長スタンスからは、本気度真剣度が伝わってこない。

**答** (町長)  
庁舎等公共施設の最適配置の取り組みは、町の将来にとって必要で、進めなければならぬとの固い決意のもと、これまで一般質問や全協の場において、答弁説明をしていたものであり、賛同いただき前に進めていきたい。

**問** 次に増築予定の新保健センターの件。既に建築基準法による確認申請がなされ、一昨年10月には確認申請が下りている。もう建築位置も変えられない。この建物はすでにコンクリートされている。2年近く議会との協議も進めず、片や保健センターはいっつも建築できるような準備万端進めてきた先走った

**答** (町長)  
議会の意見も拝聴しながら、現在の場所に決定してきた経緯もあり、その時点においても建築確認の取得を含む報告を議会に重ねたうえで、着手できるところまで進めてきた。

職員が安心して働き続けられる職場づくりを目指して

**問** 2019年4月以降、働き方改革法が順次施行され、時間外労働の上限規制や年次休暇の確実な取得、同一労働同一賃金として、正規・非正規職員間の不合理な待遇差は正が図られてきた。しかしここ数年、ワクチン接種業務や各課にまたがるコロナ施策等々行政課題も増え、働き方改革とは裏腹に職員に大きな負担がかかっている。

的に疲弊している中で、起こるべくして起こったのではないかと私は分析している。今回、町の宝である職員の勤務実態を明らかにし、これからは職員がこの町で安心して働き続けられる職場づくりを進めるため、今何が必要なのかの課題のあぶり出しとその対策を問う。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
内定・辞退・採用	12・1・11人	12・1・11人	15・3・12人	10・1・9人	15・4・11人
会計年度任用職員	104人	110人	108人	122人	130人
時間外手当/年間	33,379千円	33,250千円	29,317千円	42,773千円	※26,446千円
〃 一人当たり/年間	259千円	258千円	233千円	334千円	215千円
ラスパイレス指数	96.0/19位	97.3/15位	97.8/14位	97.3/17位	97.3/17位
病気休職者	2人	2人	2人	5人	5人

過去5年間の職員に関する指数(答弁内容)

※本年1月末現在

**問** 職員への時間外手当が、3年度は前年度の1.5倍近く増えている。コロナの影響と思うが、業務の整理をスクラップ&ビルドや、アウトソーシングを進めるべき。

**答** (公共施設最適配置推進室長)  
管理施設の正規職員は、役場の任用職員を基本としているが、それ以外の職員は最低賃金以上の積算としている。

**問** 本来、町が管理すべき指定管理施設の臨時職員には、役場並みの指定管理料を上乘せしているのか。

**答** (公共施設最適配置推進室長)  
管理施設の正規職員は、役場の任用職員を基本としているが、それ以外の職員は最低賃金以上の積算としている。